

# 食育通信～職場で食場環境を考えよう～

Vol.15

平成27年12月1日

## ～子育て世代に向けて（こども家庭課）～

こども家庭課では平成25年度から子育て世代の市民の方を対象に、食の安全・安心の知識普及を目的として県の食品安全課と共催で年に1～2回講座を開催しています。平成25年度、平成26年度のテーマは以下の通りです。

平成25年度テーマ「**食品を介する放射能物質の子どもへの影響**」

「**子どものおやつに含まれる食品添加物**」

平成26年度テーマ「**食品表示の見方**」

平成27年度は「**食品の安全性**」をテーマに実施する予定



★参加者からはこのような感想をいただきました★

- ・食品添加物は自分が思っている以上に危険では無いと分かって良かった。
- ・今後、食品を購入する際、より詳しく見て、気になる点は自分で調べていきたいと感じた。
- ・流通されている食品に対する安心感が持てた。食品表示をきちんと見るのが大事だと思った。

こども家庭課では今後も子育て世代を対象に、溢れる情報に振り回されず自分の目で見て食品を選択出来るよう、相談や講習会を実施していきたいと考えております。

## ～第5回健康福祉まつり「食の再発見！」（福祉保健センター）～

11月8日に第5回健康福祉まつりが開催されました。今回、食育推進事務局としては、「**食の再発見**」と題して、魚漢字クイズ、魚加工品、食育推進市民会議の紹介、戸田市の朝食摂取率、埼玉県の郷土料理についてのパネルを展示し、来場者には内容に沿ったクイズに挑戦していただきました。あいにくの雨でしたが、**300人近く**の方々がブースを訪れました。

★郷土料理クイズ★ ～埼玉県の郷土料理、あなたはいくつ知ってますか？～

### ①ゼリーフライ（行田市）

おからを主としたものをパン粉をつけずに素揚げしたコロッケの一種。

「銭ふらい」→「ゼリーフライ」となったとも言われている。

### ②いが饅頭（鴻巣市）

こしあんの饅頭の周りに赤飯がまぶしてある。見た目が栗のように見えることから名づけられたと言われている。

### ③鋳物汁（川口市）

鋳物の職人さんたちが栄養補給のために具たくさん汁を食べていたのが始まり。

最後に香り付けにごま油が入っている。（イラスト：ワンパグ）



☆☆☆☆☆「**戸田市食育推進情報局**」にぜひ遊びにきてください☆☆☆☆☆

福祉保健センターで行っている食育活動の取り組みや食育に関する教室等をPRするページを開設中です。

**戸田市食育推進情報局**<http://www.city.toda.saitama.jp/soshiki/236/health-shokuikujoho.html>